

第 1 回北関東エリア検討会

2021 年 3 月 13 日、日本看護科学学会若手の会主催「第 1 回北関東エリア検討会」がオンラインにて開催されました。今回のテーマは、検討会の参加者が、未曾有のパンデミックと化した新型コロナウイルス感染症の影響を背景に実践・教育・研究について話し合い、分け隔てなくつながれる仲間づくりや研究に関する情報交換の一助となることを期待して企画しました。

【検討会のテーマ】

コロナ禍で考えてみるネットワーク構築と研究への課題

検討会では「ネットワーク構築」と「研究への課題」を模索する目的を掲げ、初見の方々が参加意識を高めフランクに意見交換できる環境として Zoom ミーティングでの「ワールド・カフェ方式」を考案しました。参加者は北関東エリア 7 名、関東から九州にかけて 7 名の計 14 名で、ファシリテーターを配置した 4 つのグループをシャッフルさせて 30 分の意見交換を 3 回行いました。

意見交換では、リモートの利便性が地域や所属、時間的制約を越えネットワークが構築しやすくなったこと、遠隔操作による研究倫理の保障や研究方法の情報交換について発展的な話し合いをされる姿がありました。他方、看護職の臨床と教育では、ICT の格差が顕在化した印象を受け、対面と異なるリモートに依存した対人関係への違和感を抱いたこと、新型コロナウイルス感染症における実践的な対策への尽力が最優先され研究に至らなかった現況を共通認識できました。

日本看護科学学会 (JANS) 若手の会
2021 3 13
Zoom 開催

第 1 回 北関東エリア検討会

コロナ禍で考えてみるネットワーク構築と研究への課題

目的：検討会の参加者が考える実践・教育・研究等について意見交換を実施し、コロナ禍でのネットワーク構築と研究への課題を模索していきます。

内容：
14:00~14:15 あいさつ (目的・タイムスケジュール・内容の説明)
14:15~14:45 意見交換①
・A, B, C, Dの部屋に分かれて、自己紹介と実践・教育・研究などについてお話しください。
・コロナ禍でのネットワーク構築と研究への課題についてディスカッションし、ファシリテーターがまとめます。
14:45~15:15 意見交換②
・再びA, B, C, Dの部屋に分かれて、自己紹介と実践・教育・研究などについてお話しください。
・コロナ禍でのネットワーク構築と研究への課題についてディスカッションし、ファシリテーターがまとめます。
15:15~15:45 意見交換③
・もとのA, B, C, Dの部屋に話し合いをまとめます。
15:45~16:00 まとめ
・全員が1つの部屋に集まって、各ファシリテーターが話し合いのまとめを発表します。
・エリアコーディネーター (萩原・小西) が報告します。
16:00~16:30 あいさつ・フリータイム

【ファシリテーター】
A部屋：萩原弘幸
B部屋：小西美樹
C部屋：鶴見幸代
D部屋：渡邊賢治

北関東
エリア
検討会

本検討会は、この1年の流れに順応してきた我々看護職を労働場としてもそれぞれの意味があり、激動するコロナ禍で対人関係を重んじる心得を改めて共有し合えたように思われます。北関東初の試みとなった検討会は、今後さらに開催を継続していく価値を発見できたことに加え、看護の専門性を考える原点回帰の1つの機会となりました。

北関東エリアコーディネーター：萩原 弘幸・小西 美樹
ファシリテーター：鶴見 幸代・渡邊 賢治

参加者アンケートからのコメント (一部を改訂して抜粋)

- ・この1年、目の前のことに必死で周りを見る、知る余裕がなかったことを実感した一方、異なる地域でつながり、共通の話題でお話できることに驚き、とても嬉しかったです。
- ・初めてお会いする方と情報共有や課題の共有をさせていただくことがとても新鮮で、自身のモチベーションの向上につながりました。
- ・検討会はリラックスして参加できました。コロナ禍が落ち着いたら対面での検討会に参加したいです。
- ・コロナ禍の研究課題は人や立場により様々で、解決策もまだまだの状況にあることが認識できました。
- ・同じ領域や現場の方との情報共有から、教育に必要な研究、臨床研究の工夫を教えてくださいました。